a journal

NAGOYAKINEMA NEU

ナゴヤキネマ・ノイ

12 2026 月号

〒464-0850
名古屋市千種区今池 1-6-13
今池スタービル 2F
Tel.052-734-7467
https://nk-neu.com

12 月の定休日
※12/29 以外の火曜
12/1・8・15・22

毎月発行

RESERVATION

■各作品の 10 日前から上映 1 時間前までは公式サイトからプリペイドで席のご予約ができます。

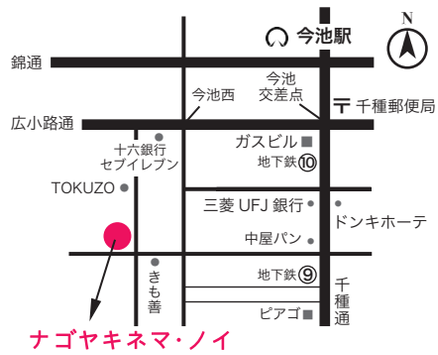
■現金でのご購入、特別鑑賞券、ご招待券をご使用の方は、10 日前から当日までの窓口受付 (座席指定) をご利用ください。

PLATFORM

公式サイト　公式 Facebook　公式 X @nkn_2024　公式 Instagram @nkn_2024

上映スケジュール表は２面をご覧ください

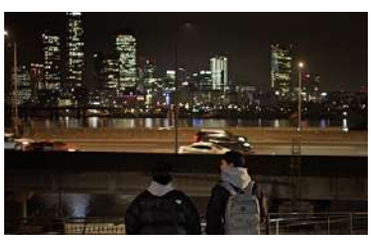
ACCESS



▶ 地下鉄今池駅⑨・⑩番出口より徒歩３分
▶ 今池スタービル２F (契約駐車場なし)

11.21 (土) ～ 12.11 (金)
『３６７０』

監督:パク・ジュンホ　(2025年 124分)



11.28 (土) ～ 12.11 (金)
『ブロークン・ヴォイス』

監督:オンドジェイ・プロヴァズニーク　(2025年 106分)



12.5 (土) ～ 18 (金)
『ナウ・アンド・ゼン』

監督:西原孝至　(2026年 72分)
●舞台挨拶 :12 月 5 日 (土) 西原監督



12.5 (土) ～ 18 (金)
『さよなら、私のロシア』

監督:ジャンナ・アガラコワ　(2025年 90分)



12.5 (土) ～ 11 (金)
『地球を守れ！ 4K レストア版』

監督:チャン・ジュナン　(2003年 117分)



12.12 (土) ～ 25 (金)『魂のきせき』

監督 : 小林茂　(2025 年 97 分)
●舞台挨拶 :12 月 12 日 (土) 小林監督、にのみやさをりさん (出演者),高橋和枝さん (出演者),秦岳志さん (編集 / プロデューサー)



12.12 (土) ～ 25 (金)
『ギャング 4K デジタルリマスター版』

監督 : ジャン＝ピエール・メルヴィル　(1966 年 150 分)



12.12 (土) ～ 30 (水)
冷血の実録クライム・フィルム 《2 作品・日替》

①ヘンリー　(ジョン・マクノートン　1986 年 83 分)
②エヴィレンコ　(デヴィッド・グリエコ　2004 年 118 分)



12.19 (土) ～ 30 (水)
『私がまだ知らない沖縄』

監督 : 猪股東吾　(2026 年 110 分)



12.19 (土) ～ 30 (水)
『ロンガの海』

監督 : 小西晴子　(2026 年 83 分)



12.26 (土) ～ ※12/31(木)・1/1(金) は休映です。
『コール＆レスポンス』

監督 : 坂上香　(2026 年 前半 130 分・後半 99 分 休憩あり)
●舞台挨拶 :12 月 27 日 (日) 坂上監督



上映作品提供 : ショートレッグフィルム、クレプスキュール フィルム、ML9、doodler、エスパース・サロウ、JAIHO、アギィ、リガード、マーメイドフィルム、コピアポア・フィルム、キングレコード、アンプラグド、boid Voice of Ghost、太秦、東風

12月上映スケジュール表

※12/1・8・15・22(火)と12/31(木)・1/1(金)は休館です。
※12/29(火)は開館いたします。

11/28(土)～12/4(金)

	11/28(土)	29(日)	30(月)	12/2(水)	3(木)	4(金)
10:30	『ブロークン・ヴォイス』					
12:30	『３６７０』					
14:50	『百姓、わらう。』					
17:20	『京都ALS患者嘱託殺人事件』					
19:10	①山の焚火	②我ら山人たち	③緑の山	『東京上空300メートル』		

12/5(土)～11(金)

	12/5(土)	6(日)	7(月)	9(水)	10(木)	11(金)
11:00	←12/5(土)は10:30。	『ナウ・アンド・ゼン』				
12:40	『さよなら、私のロシア』					
14:30	『３６７０』					
17:00	『ブロークン・ヴォイス』					
19:00	『地球を守れ！　4Kレストア版』					

12/12(土)～18(金)

	12/12(土)	13(日)	14(月)	16(水)	17(木)	18(金)
11:00	←12/12(土)は10:30。	『魂のきせき』				
13:00	『さよなら、私のロシア』					
14:45	『ギャング　4Kデジタルリマスター版』					
17:30	『ナウ・アンド・ゼン』					
19:00	②『エヴィレンコ』					

12/19(土)～25(金)

	12/19(土)	20(日)	21(月)	23(水)	24(木)	25(金)
11:00	『魂のきせき』					
12:50	『私がまだ知らない沖縄』					
15:00	『ロンガの海』					
16:40	『ギャング　4Kデジタルリマスター版』					
19:30	①『ヘンリー』					

12/26(土)～30(水)

	12/26(土)	27(日)	28(月)	29(火)	30(水)	31(木)	1/1(金)
11:00	←12/27(日)は10:30。	『コール＆レスポンス』※途中休憩あり。				※12/31(木)、1/1(金)は休館。 1/2(土)～『コール＆レスポンス』 『倫敦から来た男』ほか	
15:20	『私がまだ知らない沖縄』						
17:25	『ロンガの海』						
19:10	②エヴィレンコ	①ヘンリー	②エヴィレンコ	①ヘンリー	②エヴィレンコ		

ご入場料金・入替制

一般1800円　大学生・会員1400円　高校生以下1000円　シニア(60歳以上)1300円
障がい者・会員(シニア・学生)1100円　ペア割(2名)2800円
○会員サービスディ：木曜日　会員・障がい者1000円・会員1名とのペア(2名)2000円
○ファーストディ　一般1200円　会員・障がい者1000円

特別料金　『コール＆レスポンス』
○全国共通特別鑑賞券2500円(ステッカー付)は12/25(金)まで発売中です。
一般2800円　学生・シニア・障がい者・会員(同伴者も)・サービスディ2000円 ※ペア割引はございません。

会員募集

お申込日から1年有効で2000円。
会員特典は当日ご料金の割引きのみになります。
受付は劇場窓口にてお願いいたします。

『３６７０』

北朝鮮から来たチョルジュン(チョ・ユヒョン)は脱北者仲間にもゲイであることを告白できず都市ソウルで行きずりの関係に身をゆだねてきた。偶然参加した活気あふれるゲイ・コミュニティで物怖じしない青年ヨンジュンと出会うが…。自由で孤独な都会の生活によぎる北への複雑なこころの機微を、本作が長編デビューで脱北支援ボランティア体験をもつパク・ジュンホ監督が心情豊かに描く傑作。本年度百想芸術大賞映画部門の新人監督賞受賞。(124分)

『ブロークン・ヴォイス』

民主化後のチェコで2000年に発覚したプラハの名門少年少女合唱団「バンビーニ・ディ・プラハ」の性的虐待事件から着想された作品。13歳の主人公ヴァレリエは姉の後を追って合唱団に入団し、米国ツアーをめざす厳しい練習と競争の中で頭角を現わしていく。選ばれることだけが誇りであり成功への近道だった…。ライブ録音された合唱の妙なる響きのもとで残酷な状況を導いていく犯罪性の重さを主人公からの視点でとらえていく。(106分)

『ナウ・アンド・ゼン』

1923年と2023年。それは関東大震災の後で起きた朝鮮人や中国人の虐殺事件と、難民の状況がさらに深刻化した入管法改正の年を表す。日本社会に根強く残る意識を追って、多くのインタビュー取材が行われ、百年前の大虐殺と日本の難民制度の根底にある「差別」の歴史を掘り起こす。『百年と希望』『わたしの自由について』の西原孝至監督は一貫して若い世代の社会運動とともに歩もうとし、社会の深層に隠されてきた無意識にも触れている。(72分)

『さよなら、私のロシア』

ロシア国営放送の特派員として、イタリア人の夫、娘と共に華やかな海外の大都市で暮らす記者ジャンナ・アガラコワは祖国を信奉しながらもロシアが求めるネガティブな海外ニュースの偏向性に疑問を抱き始め、2022 年ウクライナ侵攻の勃発後に抗議して職を辞した。

ジャーナリストとしてだけではなく、祖国を愛するひとりの人間としてロシアへの望郷と現実への怖れと緊張にひき裂かれていく自身を記録する優れたセルフドキュメンタリー作品。(90 分)

『地球を守れ！ 4K レストア版』

社会を表象する大掛かりな傑作で鬼才の名を馳せるヨルゴス・ランティモスが惚れ込んでリメイクを手がけた『ブゴニア』(2025 年) のオリジナルとなる韓国発カルト映画の傑作『地球を守れ！』が初公開。後に『パラサイト 半地下の家族』でも脚光を浴びる名手ホン・ギョンピョの撮影は、息もつかせぬ展開にユーモアとペーソスを覗かせる優れた脚本 (監督のチャン・ジュナン作) に凄絶な現実感を吹き込み、一瞬も目が離せない。

異星人による地球侵略を危惧している貧しい労働者ビョングは、頼りなさげな恋人スニ、ぼさぼさ犬チグと共に、製薬会社の CEO で大富豪のカンを誘拐、監禁する…。(117 分)

『魂のきせき』

『阿賀に生きる』の撮影でも知られるドキュメンタリー映画監督小林茂は、性暴力サバイバーを公表して活動する写真家との出会いをきっかけに本作の製作を決意した。監督自身の大切な友人も幼少期の性虐待による PTSD で長年苦しみ続けてきた。やがてカメラはそれぞれに異なる痛みを抱え、生きることに戸惑いながらも踏み出すサバイバーたちへと向けられていく…。撮影・小田香、録音・川上拓也、編集・秦岳志。会期中に出演者の、「にのみやかをり写真展」を併設予定。(97 分)

『ギャング　4K デジタルリマスター版』

脱獄して暗黒街に帰ってきた大物ギャング、ギュスターブ・マンダ。通称ギュ。仁義を重んじる彼を追う辣腕警官。友情、名誉、そして、裏切り。1966 年のハードボイルドが、日本初公開時より 30 分長い 4K リマスターで蘇る。リノ・ヴァンチェラの圧倒的存在感に、ギャング出身の作家ジョゼ・ジョヴァンニの原作がリアリティをもたらし、ペキンパーやジョニー・トー、北野武ら世界中の映画人に影響を与えたヌーヴェル・ヴァーグの先駆者ジャン＝ピエール・メルヴィルの切れ味鋭い演出が冴え渡る幻の傑作。(150 分)

冷血の実録クライム・フィルム 『ヘンリー』『エヴィレンコ』

2 作品 / 日替

非情の殺人者としてクライムヒストリーに記録される実在事件を基にした作品を連続公開。来年はオーストリアの傑作『アングスト / 不安 4K』も公開予定。**『ヘンリー』**(83 分) は、全米で 300 人以上を殺害したともいわれるヘンリー・リー・ルーカスを演じた人気俳優マイケル・ルーカーのデビュー作であり、共感性に欠ける主人公の調査を重ねドキュメンタリータッチで余韻を残す演出のマクノートン監督と共に絶賛された。**『エヴィレンコ』**(118 分) は旧ソ連の国家崩壊を象徴するかのような連続殺人犯であるアンドレイ・チカチーロの狂信的人格を、マルコム・マクダウェルによるためらいのない怪演で描く。音楽はアンジェロ・バダラメンティ。グリエコ監督はパゾリーニ作品に出演した俳優で、ジャーナリストとしてチカチーロの裁判を傍聴している。

『私がまだ知らない沖縄』

沖縄。自然と気候に恵まれ、琉球王国から継がれる独自の文化・風習を持つ島々は、国内唯一の地上戦で 20 万人以上の犠牲を出し、戦後も日本国内の米軍基地の 70% を抱えている。一方、県民所得が全国最下位、３人に一人の子どもが貧困状態にある。本作は、10 代から 80 代まで様々な沖縄の人々の声の集積から、二項対立だけではない重層的な沖縄を浮かびあがらせていく。本土側の政治的無関心に抗い、2016 年から沖縄でジャーナリスト活動を開始した猪股東吾が、やまとんちゅ (本土出身) の立場から４年がかりで制作した初監督作品。(110 分)

『ロンガの海』

太平洋戦争で日本はオランダ領東インド (現在のインドネシア) を占領統治。日本敗戦後、インドネシアは独立を宣言するも認めないイギリス、オランダとの独立戦争に突入。その際、日本に戻らず、参戦した残留日本兵が 1000 名あまり存在した。本作は、その孫の世代にあたり現地で残留日本兵歴史資料館の活動に関わる三世のマリオ黒岩が祖父の足跡をたどった旅。監督の小西晴子もまたインドネシアから復員した父を持ち、その戦争体験を重ねながら 26 年もの取材を重ねている。残留したものとしなかったもの、そしてその後の長い人生が示す真実とは？ (83 分)

『コール＆レスポンス』

少年院。それは、健全な育成と社会復帰を目的に矯正教育を行う施設だ。日本全国に 40 ほどある中で、3ヶ所で行われたのラップ・ワークショップ。自らの思いを言葉 (リリック) にのせ、大人たちの〈市民チーム〉も合わせて応答 (コール＆レスポンス) しあう。アルコールや薬物、そして暴力に囲まれていた少年たちに変化はあるのか、あるいはないのか。

アメリカや日本の刑務所や受刑者に取材した傑作ドキュメンタリー『プリズン・サークル』の坂上香監督の最新作。未成年が対象ということもあり、前作以上に困難な製作になった回復と変容の最前線。(前半 130 分　後半 99 分)

next arts 通信

竹中大工道具館

企業博物館とは、まさにその企業の歴史とプライドを継承する場だと言える。前々からその評判を聞いていたが、やっと新神戸駅からほど近い「竹中大工道具館」に行くことができた。そこは、竹中工務店が開設した日本で唯一の大工道具の専門博物館だ。竹中といえば、東京本店ＩＦロビーに、“建築・愉しむ”をコンセプトに掲げた「ギャラリー エー クワッド」があり、そのユニークな展示活動に注目していたが、大工道具館のほうは、圧巻の常設展示の質量と美しさを誇っていた。

約１千点の大工道具のほか、吹き抜け空間に７メートルを超える原寸大の唐招提寺金堂の柱と組み物が圧巻。数寄屋の繊細な仕事を見せるスケルトン茶室も目をひくが、道具の展示法が面白く、その使用に関する解説映像も充実。まさに大工道具を民族遺産として収集・保存し、研究・展示する博物館なのだ。

企画展「木の生命、かたちへ　ジョージ・ナカシマと職人たち」が開催中（12 月 13 日まで)。唯一日本でナカシマの家具を製作し続ける香川県・桜製作所の現場に焦点が当てられ、木の生命を「かたち」へと導く職人たちの誠実な姿が伝わる内容だった。

【トトち】

ナニやってんだか！(17)

中部電力は基準地震動データ不正に対して、外部の弁護士による特別調査委員会を設置し、その委員会の調査報告書が出たけど、最後の結語を読んでみたら、ビックリ仰天のナニやってんだか！

「(文章を引用) *特定のリスクをゼロに近づけるべきであるという考え方は、安全性を求める側からの視点としては理解できないではない。他方、ゼロの証明までは求めず、社会的な必要性や効用との関係で、どこかでバランスを図るべきであるという考え方もあり得るのであろう*」と書かれていて、ちょっと待って！こと原子力発電に関しては安全第一が大原則ではなかったのですか？中部電力もこれまで原子力発電は安全第一と宣伝していませんでしたか？

「(文章を引用) *発電において外国産資源に依存することの危険性 (エネルギー安全保障) の観点、あるいは温室効果ガス排出規制の必要性等を含む、別の観点からの社会的要請もあるので、問題はそう簡単ではない。*」とありますが、原子力発電の燃料はウランで、外国産。また、原子力発電と火力発電は事故など発電停止のトラブルを防ぐ目的からセットにするため、外国産資源に依存することになり、温室効果ガス排出規制の必要性は大きくなってしまいますが、これらの事実をすっ飛ばしていませんか。

南海トラフ地震の発生予想は 2035 年±5 年です。それなのに浜岡原発は安全第一にしないで、再稼働させるつもり、めちゃヤバ！

(しょう)

あいまい、まいにち、こんにちは

小劇場演劇のチケット予約で「こりっちチケット！」という予約システムが広く利用されている。観客は名前や観劇日時などを入力して予約し、料金は公演当日の受付で支払いをする形式だったが、2025 年 11 月には事前決済や、指定席の販売、アーカイブ配信など新たな機能が追加された、新バージョン「こりっちチケット！Ｖ２」がリリースされた。これにより、さらに多様な販売方法や規模の公演へ対応ができるようになったようだ。

一方、旧バージョンは 2026 年９月末に新規受付を終了したのだが、Ｖ２へ移行する団体もあれば、この機会に別のチケットシステムを導入する団体もいるようだ。調べてみると、近年は多くの新しいチケットシステムが登場しているようだ。新しいサービスが増える一方で、問題やトラブルも時々あるようだ。最近では、不正アクセスを受け、サービス停止になったチケットシステムがあった。復旧まで時間を要しているようで、利用者や主催者に影響が出ている。また、事前決済型のシステムを利用した公演で、売上金の振込が予定どおり行われなかったという話も耳にした。

こうした状況を見ると、チケットシステムを選ぶ際には、機能や手数料だけでなく、運営体制やセキュリティ、資金管理の信頼性も重要な判断材料になりそうだ。新しいサービスに注目が集まる一方で、これまで問題なく利用できていたシステムのありがたさを改めて感じる。

(i)

ウニタ書店情報 (052-731-1380)

この国はどこへ向かっていくのだろうか。衆院選で大勝した高市政権は、これまで主張してきた右派的政策に手をつけ始めている。皇室典範「改正」では、皇統を男系に限る法案の成立を強行した。

また、国家への忠誠を強要する国旗損壊罪を創設し、市民の自由な批判活動を心理的に抑圧する姿勢を顕わにした。その上、スパイ防止法にも言及しており、戦前を思わせる状況が現出している。

更に、台湾有事発言のように、隣国の中国や北朝鮮の脅威を強調することで、専守防衛の空文化、非核三原則の見直しなど、戦後の安全保障政策の大改変をも図ろうとしている。

７月刊行の「**戦争を甘く見る空気**」(山崎雅弘・著、朝日新書) は、こうした状況は１９３０年代の日本に似てきている、と警鐘を鳴らしている。

盧溝橋事件に始まる日中戦争が泥沼化する中で、対米戦争に突入していった過程を、当時の政治家・軍部・メディアの言説で詳しくたどることで、当初は＜観客席＞で熱狂していた国民が、否応なく戦争の惨禍に巻き込まれていった歴史を綴っている。

敗戦から８０年が経過し、戦争の記憶が薄れている今日、特定の国への強硬姿勢をアピールし、情緒的な言葉で危機感を煽る言説には注意しなければならない。何故なら、最初はそれとわかる形で来ないのが戦争だからだ。

いなかのじけん

田んぼダム、グラウンド池

田んぼダムという考えがある。昔からある。言っておくと、水浸しになって稲穂が水に浸かり、発芽してしまいました、という可哀そうな状態の事ではない。あれは川の氾濫、ダムではない。田んぼに降った雨を畔いっぱいまで出口から出さないように堰き止めて、できるだけ川に流さないようにする。仮に通常より 10 ㎝多くためると、愛知県全体で宇連ダム一杯分の水がたまる計算になる。馬鹿にしたもんじゃあない。

白川公園グラウンドで野外芝居があった。大雨が降って人手が足りないからと、応援要請の連絡が入る。駆けつけると周りから水がどんどん入って来ている。上から降る分はしゃーないとしても、入るのは困る。回りを高くして、排水用にスコップで水路をつくる。でもどんどん水かさは増してゆく。スタッフが叫ぶ。「水が流れていかへんのやー。」確かにグラウンド脇にある排水溝が水を吸い込んでいるようには見えない。管理事務所に電話する。「雨なのでしょうがないのです。」「いや、雨だからおねがいしますよ、調べて下さい。」「ですから雨だからですよ。」禅問答のような押し問答。こりゃあかんわ、と、雨がやんできた。するとすると排水溝が水を飲みこんでいくではないか。おそいわ。でも、やれやれだ。

私は後で知った。大雨になると、その排水溝は閉じられる。そしてグラウンド周辺の水を溜め、ひとつの大きな池にする。そうして下水管があふれかえるのを防ぐ、そのためのグラウンドであったのだ。はたと気付く、公園には手入れのされてない野球グラウンドがつきものだが、ひょっとするとあれもそうか。

ナゴヤ
キネマ・
ノイ
NAGOYA
KINEMA
NEU
協力店

みその皮膚科医院
Misono Dermatology Clinic
[院内処方 / 保険診療]
診療時間
午前 10 時～13 時・午後 15 時～20 時
毎週土曜・日曜・祝日休診
地下鉄伏見駅10番出口より徒歩2分
052-232-2214
http://www.misonohifu.com/

BAR
パピリカ
(円頓寺 Les piliers 併設)
演劇、映画、アート、音楽をつまみに
名古屋市西区那古野一丁目18-2
090-1620-4591(加藤)
国際センター駅②出口から徒歩5分
丸の内駅⑧出口から徒歩8分
不定休
詳細はX@perkypat1962

GOOD BOOZE CHEAP FOODS & HIP MUSIC
Takuzoは
朝までやってる
呑み屋である。
052-733-3709
年中無休 pm6:00～am5:00
シネマテークより北、広小路通へ
抜ける手前の青いビル 2F
open house
Analog Recordと
Restaurant Bar
052-753-4300
火曜定休 pm6:00～am1:00
シネマテークより東、環状線に
抜けた角、中屋パン地下 1F

JAZZ
MATILDA
DRINK & FOOD
丸栄
かに本家
プリンセス大通
プリンセスガーデンホテル
JAZZ MATILDA
(グランドビル5F)
入江町通
三蔵通
白川通
●気軽に入れる小さなお店です
●お一人様大歓迎。 ●日・月曜定休 ●席料¥500
●オーダー¥300～ ●営業時間19:00～24:00
名古屋市中区栄三丁目9番22号グランドビル5F
052-263-6272

パンクをしたら
DAISY
052-228-0977
急ぎの荷物も当日お届け！
自転車便・自転車出張修理
デイジーメッセンジャー
名古屋市中区新栄 2-2-19

Hair Salon VARIÉTÉ
WEB: http://variete.hp4u.jp
ヘアサロン バリエテ
営業時間
平日11:00～21:00 土日祝10:00～19:00
定 休 日
月曜・第3月火曜連休
千種区池下1-6-20 751-7774
(チサンマンション池下203号) 1Fに「ドゥリエール」のあるビル

感じる、考えるひとのための本屋
bookshop & gallery
ON READING
www.onreading.jp
on_reading
地下鉄東山公園駅２番出口より徒歩１分

おかげさまで19周年
女性専門
からだほぐし＆足つぼ
みずたま
10:00-20:00
火曜・第1/3水曜休
本山駅6番出口すぐ
052-781-8239

アリガト
髪切って、凛とする。
〒464-0074
千種区仲田2-18-23
052-761-7723

SHIMAUMA BOOKS
シマウマ書房
ナゴヤキネマ・ノイから東へ
徒歩５分。古本屋です。
名古屋市千種区今池 5-14-3
11:00－18:00
定休日 火水
www.shimauma-books.com

アンティーク・リサイクル着物&カフェ
らんまる
蘭丸で
ウール400円～、正絹小紋2500円～
名古屋帯2500円～、半幅帯300円～
小物やオリジナル商品もございます。
キネマ・ノイより、南へ徒歩2分
052-735-6053
p.m.1:00～7:00 / 火曜・水曜定休
名古屋市千種区今池3-2-9ママビルディング1階

骨董・古書・美術品
これれば
鑑定・買取
昭和区桜山
052-853-1961

静寂の珈琲店
読書珈琲リチル
地下鉄今池駅徒歩1分

愛知県産
農薬・化学肥料ゼロ栽培
まずは、お試し野菜セットから
お申込みはホームページ / お電話で
tel 052-851-7200
くらしを耕す会 検索

天然酵母パンとお野菜中心のお昼ごはん
鞠奴パン食堂
●営業日／木・金曜日 am11時半～pm4時
緑区鳴海町鉾の木31-2 TEL080(4301)3102
鍼灸「ハリのむしろ」も併設

中国伝統鍼灸・冷えとり健康法
帰来堂
鍼灸療院
地下鉄池下駅1番出口すぐ
9:30-18:30(最終受付) 不定休
052-752-7817(予約制)kiraido.com
千種区池下1-11-7 MEビル202

おもしろ 楽し
三味線教室
無料体験しませんか
清元美哉廣
090-6369-7795
otanesan9@gmail.com
桜山駅近く

群れない魂の止まり木
星屑珈琲
静かな夜型喫茶

ナゴヤキネマ・ノイから168歩
本と酒
ANZAI COVE'n DOCK
安西コーブンドー
19時～27時
不定休

クリスマスは
やわらかな音色トロンボーンと織りなす煌めきの聖夜
オルガンだ！2026
オルガン
濱野芳純
トロンボーン
紺野駿人
司会
渡邊晶子
FM AICHI
「MORNING BREEZE」
木・金曜パーソナリティ
2026
12.24(木) 開演19:00
12.25(金) 開演15:00
愛知県芸術劇場 コンサートホール
全席指定 一般¥2,500 U25¥1,000
お問合せ 愛知県芸術劇場 052-211-7552 Email: contact@aaf.or.jp

印刷のことなら何でもご相談ください。
もくもくさん
http://mokumoku.asia
名古屋市瑞穂区 tel 052-852-7611

タル・ベーラ
凝視せよ、抵抗せよ
Béla Tarr
Családi tűzfészek Szabadgyalog Kárhozat Sátántango
Werckmeister Harmóniák The Man from London

THE MAN FROM LONDON
倫敦から来た男

ファミリー・ネスト
アウトサイダー
ダムネーション 天罰
サタンタンゴ
ヴェルクマイスター・ハーモニー
(以上 4K デジタルレストア版)
倫敦から来た男 (初デジタル版)
2027.1.2 公開
ナゴヤキネマ・ノイ
NAGOYAKINEMA NEU

Free Palestine!
私たちにできること

名古屋シネマテークの
支配人平野勇治の遺稿集
平野勇治 著
安住恭子 発行
小さな映画館から
1650円(税込)
ウニタ書店・ナゴヤキネマ・ノイで販売中